

O & K VOICE

株式会社オーアンドケー社内報Vol.139

2026年1月号



撮影者: 倉知 清和

撮影場所: 東山植物園 水車小屋付近

タイトル: 「揺れる紅の影が光に溶け、木漏れ日の舞台で秋だけが知る物語が始まる」



寒い季節が近づくにつれて、暖房器具の出番が増えてきます。今回は、先日お客様のご自宅で施工した煙突清掃と暖炉・薪ストーブの違いについてご紹介します。



◇暖炉と薪ストーブの違いについて

暖炉は「炎を楽しむ」という要素が強く、薪ストーブは「効率よく暖を取る」というところが特徴です。

項目	暖炉	薪ストーブ
画像		
形状	壁に埋め込まれた開放型	密閉された箱型のストーブ本体
熱の伝わり方	輻射熱が中心 暖気が煙突から逃げやすく、暖房効率は低い	対流＋輻射熱で部屋全体を効率よく暖める
雰囲気	炎が直接見え、視覚的・情緒的な暖かさがある	実用性重視・ガラス窓越しに炎が見えるタイプも多い
管理	着火や火力調整に慣れが必要・燃料消費が多い	空気量調整ができ操作が簡単・灰処理もしやすい

◇煙突清掃について

煙突は、暖炉・薪ストーブの心臓部とも言える重要なパーツで、定期的な清掃が必要です。怠ると、以下のようなリスクがあります。

- ・煤(すす)やタールの蓄積による煙の逆流がおこる。
- ・火災の原因となる可燃性堆積物が発生し、煙突から火の粉などが発生する。
- ・暖房効率の低下と室内の臭いの原因となる。



◇煙突清掃の手順

- ①室内の暖炉周囲に養生をして煤が室内に入り込まないようにします。
- ②屋根の上に登って煙突のキャップを外し、煙突内に「煙突ブラシ(右写真)」を投入して煙突内側の煤を取り除きます。
- ③清掃作業が終了したら、室内の養生を片付け煙突の復帰をして終了です。

※清掃の目安とポイント

- ・年1回以上の清掃が推奨されます。特に冬季前の準備が安心です。
- ・清掃時には、煙突内部の煤の状態や、ダンパーの動作確認も重要です。

今回、煙突清掃は無事に終了しました。お客様は、年末のクリスマスパーティーを暖炉の前で開催予定とのこと。きっとサンタクロースも、トナカイを連れて訪れてくれることでしょう。

さて、私は自宅の大掃除でもしますか！(原稿作成:2025/11)

①室内養生↑



②煙突掃除↑



最近、病院に行くと「マイナンバーカードをお持ちですか？」とよく聞かれます。自分の病気の履歴や飲んでる薬などが、別の病気で受診した際に他の医療機関でもわかり、お薬手帳がなくてもいいので便利なシステムだと思い利用しています。

【マイナ保険証・資格確認書・資格情報のお知らせ】

12月1日で健康保険証が廃止され、マイナ保険証の利用が本格的にスタートしています。健康保険証廃止後、病院に行く場合はどのようにすればよいのでしょうか。

マイナ保険証がある場合

マイナ保険証がある場合は、原則どおりマイナンバーカード1枚で受診をするのが基本となり、マイナ保険証は、専用のカードリーダーを使って読み取りなどをします。

なお、病院へ行った本人がマイナ保険証を持っていたとしても、受診する病院に端末がないとマイナ保険証は使えません。その場合は、マイナ保険証と併せて「資格情報のお知らせ」またはマイナポータルを使って受診することになります。



マイナ保険証がない場合

今後は、マイナ保険証の利用が基本となりますが、マイナ保険証がないと健康保険が使えない！ということはありません。

マイナ保険証・資格確認書・資格情報のお知らせの3種類ありますが、協会けんぽのまとめ表を引用してご紹介いたします。

	名称	形状	取得方法	使用目的	使用方法
①	マイナ保険証	マイナンバーカード 	マイナンバーカードの入手後、マイナンバーカードの保険証利用登録を行う	カードリーダーが設置されている医療機関を受診するとき	医療機関に設置されているカードリーダーで読み取り
②	資格確認書	従来の健康保険証と同じプラスチックカード型(色は黄色) 	・資格取得時等に申請 ・マイナ保険証をお持ちでない方に職種で発行	マイナ保険証をお持ちでない方が医療機関を受診するとき	医療機関に提示
③	資格情報のお知らせ	紙製カード型 	・資格取得時に送付(申請不要) (マイナポータルから確認できる「わたしの情報」でも代用可能) ・既加入者には本年9月に送付済み	カードリーダーが使えない場合に医療機関を受診するとき	マイナ保険証と資格情報のお知らせの両方を医療機関に提示(資格情報のお知らせのみでは受診不可)

それぞれの使用目的や使用方法が
まとまっています！
医療機関を受診する際は、
ご参考ください。





2025年11月5日(水)、鳴海カントリー倶楽部ホールにて公益社団法人熱田法人会緑区5支部・豊明支部の合同講演会を開催しました。

今回の講師は——アンジャッシュの渡部 建 氏でした。
「えっ、渡部さんって、あの？」と思う方も多いはず。

私自身、緑区緑東支部長として企画の中心となり、渡部さんご本人と直接連絡を取りながら、交渉・調整・日程の確定までを担当しました。企画から当日までの準備には多くの課題もありましたが、結論から言うと過去最高の満足度を記録した講演会になりました。

この講演会には、支部会員・企業経営者・一般参加者ご出席され、当日は約150名の来場者で会場は満席となりました。法人会としては最大規模の出席人数となり、開始前から会場は熱気に包まれていました。



講演テーマ:「努力も才能もいらないコミュニケーションの極意とは？」

渡部さんはメディアで語られることのなかった思いや葛藤、そして再挑戦への覚悟を、自らの言葉で語ってくれました。特に印象的だったのは、「話が上手い人より、また会いたいと思われる人でありたい」という言葉です。“相手の話を奪わずに聞く”・“ネガティブをポジティブに変換する”・“承認し、心理的安全性をつくる”。これらの考え方は、コミュニケーションだけでなく、人間関係全般に応用できる内容で、参加者の心に深く刺さりました。

参加者の声

「報道で抱いていた印象が完全に変わった」「等身大の言葉が胸に響いた」
「応援したくなった」「またメディアで活躍してほしい」

冗談を交えながらも、終始真剣な眼差しで語る姿に、会場全体が引き込まれていました。

報道のイメージは、本物の姿ではない

今回、支部長として渡部さんと直接やり取りをする中で感じたのは、「とても誠実で、丁寧で、周囲への配慮ができる人」ということです。世の中のイメージと、実際の人間性には大きなギャップがあると、改めて気づかされました。

この講演が教えてくれたこと

渡部さんは最後に、こう話しました。
「失敗や逆境は終わりではなく、生き直すチャンスです。」
参加者も私自身も、「人を許す文化」「再チャレンジを認める社会」の大切さを感じました。



講演会の要約

2026年
1月号

別冊 O&K VOICE



高級
銀だら入り！

西京漬け詰め合わせセット 7名様にプレゼント！

今年も一年、現場で業務をされる皆さん一人ひとりの頑張りに支えられて無事に走り抜けることができそうです。心から感謝しています。

そこで、その気持ちを少しでも形にしたい、新年のプレゼント企画を実施します！

西京漬け詰め合わせセット(10切れ入り)を抽選で7名様にプレゼントします。ささやかではありますが、皆さんがこの企画を通して楽しんでいただける時間になれば嬉しいです。

ご希望の方は、以下番号までSMS(ショートメール)でご応募ください。当選された方のみSMSもしくは電話でお知らせ後、年明け1月中に購入先店舗から直送でご自宅に当選品をお送りいたします。

※応募いただける方は在職者に限ります。

※応募が多数の場合は、厳正な抽選を行います。



■応募方法■

SMS(ショートメール)

090-1563-0288

上記番号宛に

「①所属 ②氏名 ③さかな」

を入力して送信する



応募締切: 令和7年12月25日(木)

※17:00まで

※2026年1月中のお届けを予定しています。

※保存は冷凍で1ヶ月以上です。

※クール便(冷凍)のお届けになります。

◆原料のこだわり

魚種毎に脂乗りの良い時期の原料を厳選
さらに脂乗りの良い大型原料のみを使用しています。

◆切身のこだわり

贈答品としても自信をもってお使いいただける
食べ応えのある厚切りにカットしています。

◆漬け(熟成)のこだわり

満遍なく均一に味が浸透するよう、
職人が毎日手作業で丁寧にかき混ぜながらじっくり熟成させています。



2026年も実りある一年と
なりますよう
共に前に進んでいきましょう！



永年勤続奨励金を贈呈



永年に亘り当社に勤務されているクリーンスタッフの皆さんに、感謝の意を込めてささやかながらではございますが「永年勤続報奨金」を10月中旬に送付させていただきました。これは、勤続年数が5年・10年・15年になる方々で今年の対象者は38名でした（右表）。

当社は、クリーンスタッフの皆さんの力が必要不可欠です。少しでも長く健康な身体で勤務していただけるよう、働きやすい環境づくりや楽しい企画を提案していきますので、今後もよろしくお願いいたします。

勤続年数	人数
15年	3
10年	14
5年	21

執筆者の記名を選択制にします



クリーンスタッフの方から「社内報の執筆者が苗字のみの記載だと、親しみが湧きにくい」という内容の意見が寄せられました。そこで、社内で検討した結果、以下のルールを定めましたので、その一部をこちらで共有させていただきます。

ー社内報「執筆者名表記ルール」ー

1. 目的

社内報における執筆者名の表記について、統一した運用基準を定め、情報発信の透明性と個人情報への配慮を両立することを目的とします。

2. 基本方針

- (1) 原則として、執筆者名はフルネームで掲載します。
- (2) ただし、本人が希望する場合は、「苗字のみ」または「苗字＋イニシャル」での掲載を認めます。
例)「伊藤」「伊藤 M.」など
- (3) 記載方法の選択は、原稿提出時に執筆者本人から確認を行います。

～一部省略する～

4. 留意事項

社外（取引先等）へ配布されるため、個人情報への配慮を行いつつ、読者が執筆者を把握できる範囲での表記を行うものとします。

本ルールは必要に応じて見直しを行います。

従業員の皆さんが安心して社内報作りに参加していただいけるよう、個人情報保護と情報発信の透明性の両立を目指して運用していこうと思います。

今回、他にも従業員の皆さんから貴重な意見を寄せていただき、社内で意見交換の場を設ける良い機会となりました。率直なお声を寄せいただいたことに感謝しております。

